

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成29年度）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究 代表者	部局	家政学部		
	職	准教授		
	氏名	小林 実夏		

1. 研究種目名 基盤研究(C)(一般) 2. 課題番号 17K009353. 研究課題名 育児期の女性の精神的社会的要因や地域・家族の支援と子どもの食環境や発達との関連4. 補助事業期間 平成29年度～平成33年度

## 5. 研究実績の概要

国立成育医療センターで実施されている「成育母子コホート研究」の生後6年後の調査を実施するため、子の父親・母親に向けた質問表の作成を行った。調査票の内容は、子の食習慣、しつけ、世話について、本人の食習慣についてである。これらの調査とあわせて簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）を用いた食事調査を始めた。今後は調査対象者の数を増やしデータ構築をすることによって、出産後うつ、不安障害、健康度等の子どもの栄養や発達、あるいは母親、父親の食事への影響について明らかにする。また、これらの関連に出産・育児に関するソーシャルサポート、家族のサポートが与える影響について明らかにする。

## 6. キーワード

母子コホート 発達 食習慣 栄養摂取 サポート 育児

## 7. 現在までの進捗状況

区分 (2) おおむね順調に進展している。

理由  
生後6年後の調査を実施するための、子の父親・母親に向けた質問表の作成を完了した。平成29年度は677人に調査票を送付し、3月末で237人から回収が終了している。一方、出生3年後の調査内容とBDHQから算出された食品・栄養素摂取量のデータコーディングを終了させた。  
産後うつ（EPDS）、精神的健康尺度（Kessler-6）、健康関連QOL（SF-8）、母親から乳児へのボンディングスケール（MIBS-J）等の指標と子どもの発育状況、食習慣との関連を検討するため、各データの整理を行った。

2 版

## 8. 今後の研究の推進方策

次年度も生後6年後の調査を継続し、対象者数を増やす。また、データの整理ができた調査項目について解析を行い、母親の就業状況、家族環境、産後うつや不安障害の発症等が子どもの食環境、栄養摂取、発育や家族の食習慣に与える要因に関して明らかにする。

## 9. 次年度使用が生じた理由と使用計画

調査表の翻訳代が平成29年度予算内に収まらなかったため、次年度に持ち越した。

## 10. 研究発表（平成29年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 4件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 Kobayashi M, Ogawa K, Morisaki N, Tani Y, Horikawa R, Fujiwara T.	4. 巻 8
2. 論文標題 Dietary n-3 Polyunsaturated Fatty Acids in Late Pregnancy and Postpartum Depressive Symptom among Japanese Women.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry - Public Mental Health	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsy.2017.00241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi M, Jwa S.C, Ogawa K, Morisaki N, Fujiwara T.	4. 巻 27
2. 論文標題 Validity of a food frequency questionnaire to estimate long-chain polyunsaturated fatty acid intake among Japanese women in early and late pregnancy.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J epidemiol.	6. 最初と最後の頁 30-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.je.2016.07.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa K, Jwa S.C, Kobayashi M, Morisaki N, Sago H, Fujiwara T	4. 巻 27
2. 論文標題 Validation of a food frequency questionnaire for Japanese pregnant women with and without nausea and vomiting in early pregnancy.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J epidemiol.	6. 最初と最後の頁 201-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.je.2016.06.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi M, Takada Y, Utsunomiya Y, Sakkayaphan S.	4. 巻 3
2. 論文標題 Estimation of Nutrient Intake in Thailand: Influence of Differences in Food Composition Tables on Estimated Intake.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Nutr.Med Diet Care	6. 最初と最後の頁 22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23937/2572-3278.1510022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi M.	4. 巻 27
2. 論文標題 Kobayashi M. Estimation of body composition measured by different bioelectrical impedance method Comparison between InBody and left and right regions separate inner scan .	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Hum Cult Stud.	6. 最初と最後の頁 670-673
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takada Y, Kobayashi M.	4. 巻 53
2. 論文標題 Development and validity of the food frequency questionnaire for dietary assessment of the young woman	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bulletin of Otsuma Univ.	6. 最初と最後の頁 39-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

2 版

〔学会発表〕 計3件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 3件）

1. 発表者名 E Abe, M Kobayashi, N Morisaki, K Ogawa, K Cha, T Fujiwara
2. 発表標題 The relationship between working type and dietary habit and weight gain during the pregnancy period.
3. 学会等名 IARMM 6th World Congress of Clinical Safety (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 E Abe, M Kobayashi, N Morisaki, K Ogawa, K Cha, T Fujiwara
2. 発表標題 Differences in dietary intake and meal time among pregnant women who increased or decreased intake during morning sickness
3. 学会等名 21st IEA World Congress of Epidemiology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 M Kobayashi, K Ogawa, N Morisaki, Y Tani, R Horikawa, T Fujiwara.
2. 発表標題 Dietary n-3 polyunsaturated fatty acids in late pregnancy and postpartum depression among Japanese women
3. 学会等名 21st IEA World Congress of Epidemiology (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

1 1. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

1 2. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4. 備考

-